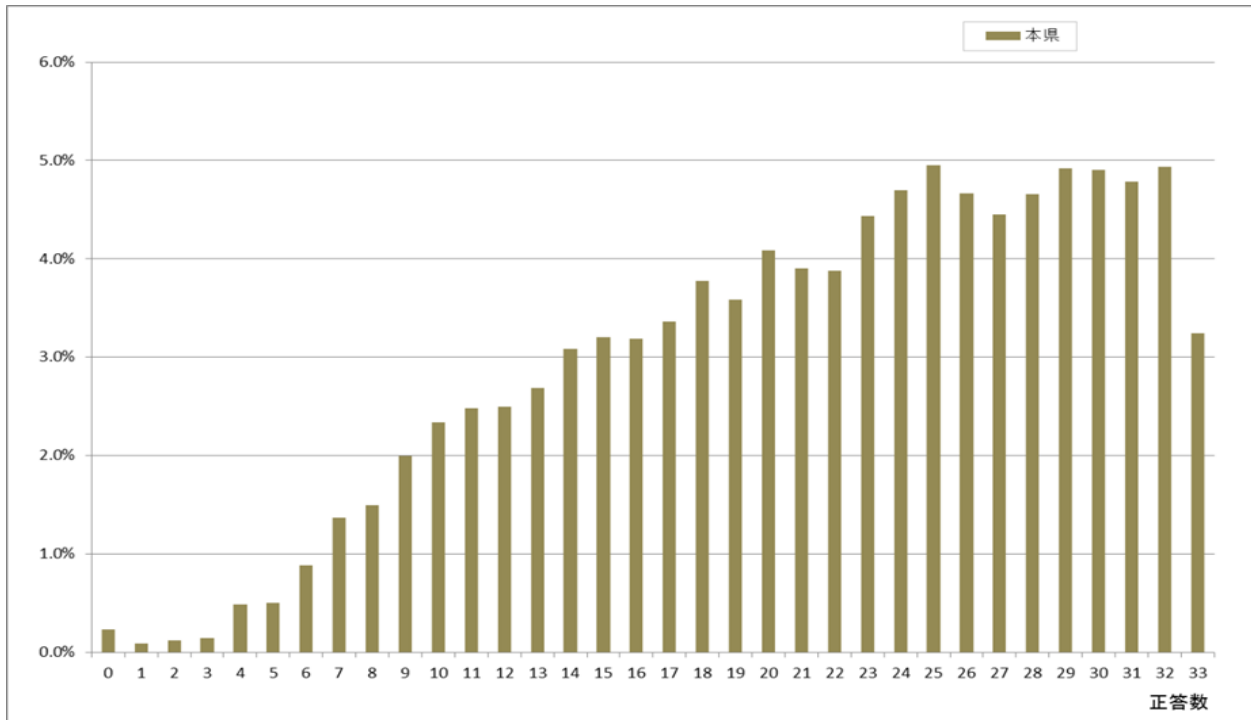


平成29年度山梨県学力把握調査結果の分析〔中学校第2学年・英語〕

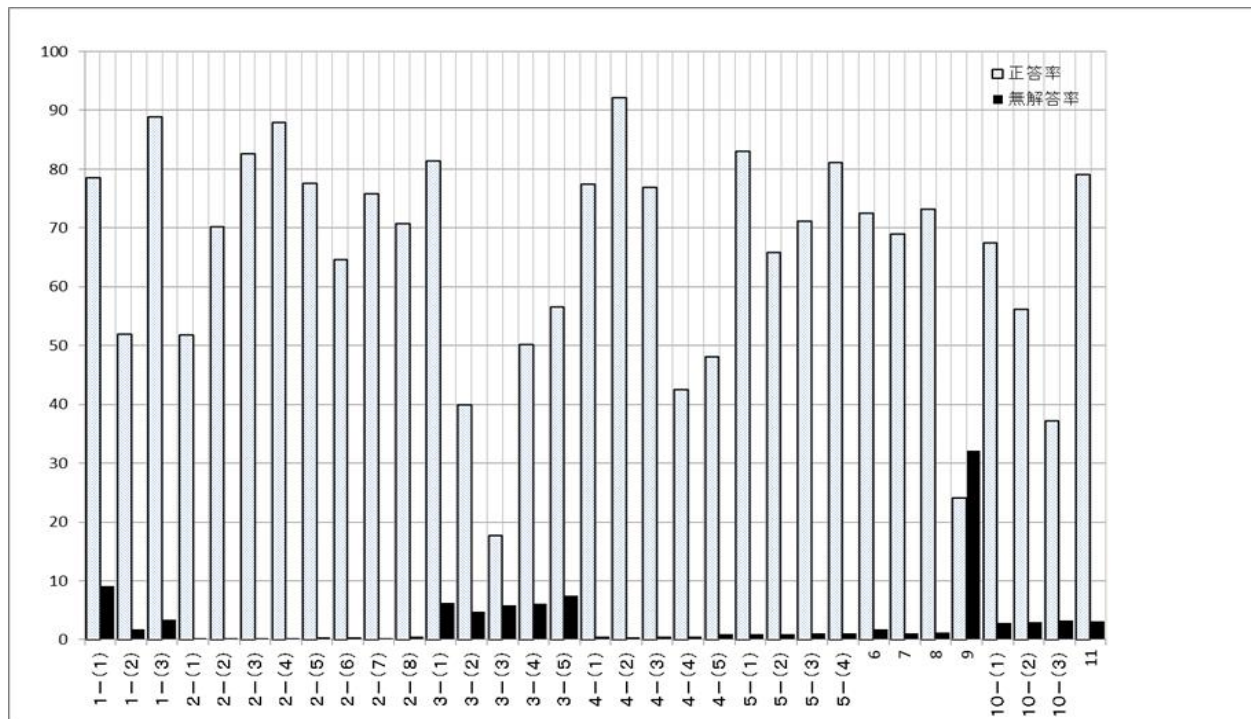
調査結果概況

調査人数	平均正答数/設問数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
6811人	21.6 / 33	65.5	23	7.57

【正答数分布グラフ】（横軸：正答数，縦軸：割合）



【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



設問ごとの解答状況

【解答類型票】

誤答や無解答率が高い設問に着目すると授業改善のヒントが見えてきます！

	設問番号	設問の概要	解答類型（割合）※ <u>下線</u> が正答									無解答
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	1-(1)	符号を書く(アポストロフイー)	<u>78.5</u>	0.3							12.1	9.1
2	1-(2)	符号を書く(クエスチョンマーク)	<u>51.9</u>	40.2							6.2	1.7
3	1-(3)	符号を書く(カンマ)	<u>88.9</u>	0.6	5.0						2.1	3.4
4	2-(1)	文にふさわしい語を選択する	2.6	<u>51.8</u>	45.0						0.2	0.3
5	2-(2)	文にふさわしい語を選択する	<u>70.2</u>	23.4	6.0						0.2	0.3
6	2-(3)	文にふさわしい語を選択する	3.0	13.9	<u>82.6</u>						0.2	0.3
7	2-(4)	文にふさわしい語を選択する	<u>87.9</u>	10.4	1.1						0.3	0.3
8	2-(5)	文にふさわしい語を選択する	6.3	15.5	<u>77.5</u>						0.3	0.4
9	2-(6)	文にふさわしい語を選択する	24.5	<u>64.6</u>	10.3						0.2	0.4
10	2-(7)	文にふさわしい語を選択する	9.3	14.4	<u>75.7</u>						0.2	0.3
11	2-(8)	文にふさわしい語を選択する	16.1	<u>70.7</u>	12.3						0.3	0.6
12	3-(1)	文にふさわしい動詞を書く(be動詞)	<u>81.4</u>	5.6	0.8						5.9	6.3
13	3-(2)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	<u>40.0</u>	15.4	21.7	1.5	0.3				16.4	4.7
14	3-(3)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	<u>17.8</u>	61.5	2.6	3.5					8.8	5.8
15	3-(4)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	<u>50.2</u>	6.5	2.4	2.7					32.2	6.1
16	3-(5)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	<u>56.6</u>	5.3	1.4	16.8					12.4	7.5
17	4-(1)	文にふさわしい語を選択する	<u>77.4</u>	7.0	15.0						0.2	0.5
18	4-(2)	文にふさわしい語を選択する	3.7	<u>92.1</u>	3.6						0.1	0.4
19	4-(3)	文にふさわしい語を選択する	17.3	5.0	<u>76.9</u>						0.2	0.5
20	4-(4)	文にふさわしい語を選択する	<u>42.5</u>	17.2	39.5						0.2	0.6
21	4-(5)	文にふさわしい語を選択する	25.2	25.4	<u>48.1</u>						0.4	0.9
22	5-(1)	会話の流れにふさわしい文を選択する	10.0	<u>83.0</u>	6.0						0.0	1.0
23	5-(2)	会話の流れにふさわしい文を選択する	<u>65.8</u>	24.4	8.8						0.1	1.0
24	5-(3)	会話の流れにふさわしい文を選択する	13.0	14.7	<u>71.1</u>						0.1	1.1
25	5-(4)	会話の流れにふさわしい文を選択する	<u>81.1</u>	11.0	6.7						0.2	1.1
26	6	英文の内容に合う曜日を選択する	4.3	1.8	18.6	<u>72.5</u>	0.6				0.6	1.7
27	7	英文の流れに合う文を選択する	8.1	<u>68.9</u>	6.8	14.8					0.3	1.1
28	8	英文の内容に合う文を選択する	12.8	7.4	<u>73.2</u>	5.3					0.1	1.2
29	9	英文を書く	<u>15.9</u>	<u>8.3</u>							43.7	32.1
30	10-(1)	英語を並べ替える(SVC)	<u>59.0</u>	<u>8.5</u>	1.1	25.8					2.7	2.9
31	10-(2)	英語を並べ替える(一般動詞の命令文)	<u>49.9</u>	<u>6.2</u>	28.2	9.9					2.8	3.0
32	10-(3)	英語を並べ替える(一般動詞の疑問文)	<u>35.5</u>	<u>1.7</u>	36.5	13.7					9.3	3.2
33	11	英文を書く	<u>35.4</u>	<u>0.4</u>	<u>43.2</u>	9.9	0.1	0.4	0.2	0.2	7.0	3.1

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

正答率の上昇は、どのような取組の成果でしょうか。

過去調査と比べて、正答率は上昇したけれども、依然として正答率が低い設問に対して、これからどのような取組が考えられるでしょうか。

設問番号	設問の概要	領域	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率(%)	県正答率(%)	H29-過去(ポイント)
1-(1)	符号を書く(アポストロフィー)	言語	H26	77.8	78.5	0.7
1-(2)	符号を書く(クエスチョンマーク)	言語	H26	38.5	51.9	13.4
1-(3)	符号を書く(カンマ)	言語	H26	87.2	88.9	1.7
2-(1)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	58.7	51.8	-6.9
2-(2)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	66.6	70.2	3.6
2-(3)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	80.9	82.6	1.7
2-(4)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	85.1	87.9	2.8
2-(5)	文にふさわしい語を選択する	言語	H25	81.5	77.5	-4.0
2-(6)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	51.0	64.6	13.6
2-(7)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	74.1	75.7	1.6
2-(8)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	65.7	70.7	5.0
3-(1)	文にふさわしい動詞を書く(be動詞)	言語	H26	83.9	81.4	-2.5
3-(2)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	言語	H24	47.3	40.0	-7.3
3-(3)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	言語	H24	9.2	17.8	8.6
3-(4)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	言語	H26	48.3	50.2	1.9
3-(5)	文にふさわしい動詞を書く(一般動詞)	言語	H26	50.7	56.6	5.9
4-(1)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	74.7	77.4	2.7
4-(2)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	75.8	92.1	16.3
4-(3)	文にふさわしい語を選択する	言語	H25	79.9	76.9	-3.0
4-(4)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	42.8	42.5	-0.3
4-(5)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	57.3	48.1	-9.2
5-(1)	会話の流れにふさわしい文を選択する	言語	H24	77.7	83.0	5.3
5-(2)	会話の流れにふさわしい文を選択する	言語	H26	59.2	65.8	6.6
5-(3)	会話の流れにふさわしい文を選択する	言語	H26	70.9	71.1	0.2
5-(4)	会話の流れにふさわしい文を選択する	言語	H25	80.7	81.1	0.4
6	英文の内容に合う曜日を選択する	ウ	H26	69.4	72.5	3.1
7	英文の流れに合う文を選択する	ウ	H25	67.3	68.9	1.6
8	英文の内容に合う文を選択する	ウ	H26	69.1	73.2	4.1
9	英文を書く	ウ・エ	H25	16.4	24.2	7.8
10-(1)	英語を並べ替える(SVC)	言語	H26	78.6	67.5	-11.1
10-(2)	英語を並べ替える(一般動詞の命令文)	言語	H24	48.4	56.1	7.7
10-(3)	英語を並べ替える(一般動詞の疑問文)	言語	H25	27.0	37.2	10.2
11	英文を書く	エ	H25	69.2	79.0	9.8

<領域>ア：聞くこと イ：話すこと ウ：読むこと エ：書くこと 言語：言語材料

課題のある設問の分析

この設問を課題として挙げた理由

- ・過去調査より正答率が10.2%上がり改善が見られるが、依然として正答率が低い。

<言語材料>

問10 (3)

10 次の(1)~(3)はAとBの会話です。それぞれの()に当てはまる文を、()内の英語を並べ替えて書きなさい。なお、文頭の文字については、大文字に書き替えなさい。

A: I want a new cap.

(3) B: ()?

A: I want a blue one.

(color / you / do / what / want)

■正答 What color do you want
○正答率 37.2% (27.0%H25)

○無解答率 3.2%

○誤答について

・類型3 What do you want color

36.5%

- ・疑問詞の後は do もしくは be 動詞と機械的に捉えて解答している。
- ・文法指導において、適切な場面設定の中で言語材料を導入することと、言語活動を通して定着を図ることが不十分である。
- ・この表現は小学校外国語活動で既に学習している表現である。小学校で「聞くこと」・「話すこと」を通して学習したことを、中学校で「読むこと」・「書くこと」を通して深める指導が不十分である。

授業改善のポイント

適切な場面設定の中で、言語材料を導入し、自分の思いや考えを伝える言語活動を通して定着を図る。

これまでの学習で

この学習で必要となる内容や考え方は何でしょうか。

この設問では、対話の内容を理解し、内容に合う英文を伝わる語順で書くことが求められています。日本語と英語では語順が違うということを意識させることが大切です。語順が違うと伝える内容、受け取る内容も違ってきます。特に1年生では、耳で十分に慣れ親しんだ表現を声に何度も出すことで定着を図ること、そして英文を書くときは語順を意識して書き写す指導を繰り返すことが有効です。

これからの学習で

これから学習するどの単位と関連があるでしょうか。学習した内容や考え方は、今後どの学習で生かされるでしょうか。

言語材料の導入の際には、その言語材料が使われるべき場面で、音声で提示し、「どんな場面、意味、形」で使用されるかを生徒に意識させることが大切です。その上で、言語材料の理解や練習の言語活動と、自分の考えや思いを伝える言語活動とをバランス良く配置し、活用を通して定着させることが有効です。また、聞いたり、話したりする活動だけにとどまらず、書く活動を取り入れ正確に英文を書く場面を設定することも大切です。